



桜山小だより

【学校教育目標】

- ・(知) 夢を持ち楽しく学ぶ子
 - ・(徳) 心豊かに思いやる子
 - ・(体) 健康でたくましい子
- ～ともに夢を育む感動体験を通して～

11月号

令和7年11月25日発行
校長 ニロ 法子



就学時健康診断と児童の手伝い

小学校では秋に次年度の入学生を対象とした「就学時健康診断」を実施します。これは学校保健安全法により、次年度に初等教育を受ける予定である子どもたちに対して、心身の健康を確認するために行われるものです。本来は市教育委員会が実施するものですが、市内全対象児を集めて実施することが難しいことから、入学予定小学校を会場にして当該校の職員が総出で実施しています。今年度については本校は早く、10月1日に実施しました。コロナ禍を経て、校内の様々な体制は児童の接触をできるだけ減らして行うようになっていました。この体制は新型コロナウイルス感染症の扱いがインフルエンザと同じ5類相当に引き下げられても、本校においては踏襲されたままとなっていました。そこで、今年度は5年生有志に仕事を任せました。来年度新入児が入学してきた際に、多く関わるのが新6年生、つまり現5年生となるためです。



幼児は保護者と体育館で受付をした後、グループを作り5年生の先導で校内に設けられた健康診断会場を一緒にまわりました。初めてのことに落ち着きかない子や、母親と離れて泣き出してしまう子もいましたが、不安そうな幼児を優しく案内してくれました。そもそも5年前の自分たちが目の前にいるわけですが、寄り添ってなだめてあげたり、近くの教員に助けを求めたりするなど、その場その場で的確に判断する5年生の姿を目の当たりにしました。

5年生にとっては、校内にいつでも頼れる6年生がいます。自分たちが最上級生になるという意識は、今のところはそれほど高まっていません。しかし、学級担任からの声掛け、登校班や縦割り班の等の経験により、知らず知らずに「次は自分」という気持ちが耕されているのです。そしてこの就学時健康診断を経験することによって、5年生は一気に成長します。手をつないでもらっている幼児にとっても、体育館でお待ちいただいている保護者の皆様にとっても、大きなお兄さん、お姉さんは頼りがいがあり将来の姿を想像したことと存じます。

そして半年後、この時にお世話をした子たちの多くが桜山小学校に入学してきます。5年生はさらに立派な最上級生となってお迎えします。桜山小学校は良いスパイラルで、今後もさらによりよい学校となるよう教育活動を行ってまいります。

第二回資源回収を行いました

11月8日(土)に、今年度2回目の資源回収を行いました。今年度より、地域にトラックが出向いて回収するのではなく、地域の皆様に学校に搬入いただく方式にしています。PTA運営委員学校応援の皆様のお力添えをいただき、アルミ缶や校内から出たりサイクル用の牛乳パック等と合わせて、搬入いただいた資源を業者に回収していただきました。アルミ缶は常時回収しておりますので、学校にお立ち寄りの際にはお持ち込みいただけますと幸いです。

